

まなぶ

5月30日(水)

レクチャー/デモンストレーション

開始19:00 / 開場18:30 / 会場 京都芸術センター講堂

電子音楽作品の上演についての実践的考察 — 黛敏郎作品のマスタリングを例として —

概要

JCMR KYOTO Vol. 5 「黛敏郎の電子音楽全曲上演会」(2011年8月開催)にて顕在化した、電子音楽の上演におけるさまざまな問題点についてのレクチャーとデモンストレーションです。

講師：能美亮士、司会：川崎弘二

*京都市立芸術大学 紀要論文 「電子音楽作品の上演についての実践的考察(1) 黛敏郎作品のマスタリングを例として」の別刷を配布

きく

5月31日(木)

コンサート

開始19:00 / 開場18:30 / 会場 京都芸術センター講堂

篠原眞の電子音楽上演会

上演作品

Visions I 〈幻影 I〉(1965, 4ch)
Mémoires 〈追憶〉(1966, 4ch)
Personnage 〈人物〉(1968-73, 3ch)
Broadcasting 〈ラジオ放送〉(1974, 2ch)
Passage for stereo amplified bass flute 〈移り行き〉(1980/86)
City Visit 〈都市訪問〉(1971-79, 4ch)

音響：能美亮士、東岳志

フルート：江戸聖一郎

*書籍「篠原眞の電子音楽」(川崎弘二編著)を配布予定

JCMR KYOTO vol. 7
京都芸術センター共催事業

まなぶ
ときく

電子音楽はいかに上演されるべきか。

本イベントは、電子音楽作品をその上演法やアーカイブなどの観点から「まなび」、それを踏まえて実演を「きく」ことを主眼としています。「まなぶ」におけるレクチャー、そして、電子音響のデモンストレーションを体験していただくことにより、篠原眞の電子音楽作品がより深く理解できるものと考えています。

チケット：5月30日 1,500円 / 5月31日 2,000円 / 2日通し券 3,000円

お問い合わせ・予約：jcmr.kyoto@gmail.com

共催：京都芸術センター 後援：engine music / music of new reference